

じゃっとじゃっと

苓北支援学校 人権教育ニュース

令和7年12月発行(年1回)
人権教育主任:脇島

令和7年度の本校の人権教育目標は「本校の目指す児童生徒像『つよく・あかるく・なかよく』を基本に、自他共に大切に思う心や、個々に応じたコミュニケーション能力を発揮し、人と共によりよく生きるために必要な力を育む」です。本年度の人権教育の取組を紹介します。



第1回なかよし集会 「なかよしゲーム」で仲良くなろう

5月7日(水)に「なかよしゲーム」をしました。児童生徒は小学部、中学部、高等部の縦割りの2グループに分かれ、より仲良くなるために「ひっぱりま show ゲーム」と「ナイスショットゲーム」を楽しみながら「私の好きな本を紹介しよう」「みんなとタッチ」等のお題に取り組みました。活動中は、楽しい雰囲気の中で児童生徒がお互いのことを知ることができました。この活動を通して、友達と触れ合ったり、好きなことなど友達のことを知ったりすることが大切だということを確かめることができました。※参加できなかった児童生徒の紹介は職員が行いました。



第2回なかよし集会 協力して「柿わたしゲーム」をしよう

11月4日(火)に「柿わたしゲーム」をしました。1学期同様2グループに分かれ、グループ毎に横一列に並んで棒を持ち、その棒を使って柿に見立てた輪を隣の友達に渡す活動に取り組みました。お互いに輪を渡し合いやすいように、声を掛け合ったり、棒の高さを合わせたりすることをポイントに伝えると、棒を上げたり、下げたりして隣の友達と輪を渡し合っていました。活動中は、賑やかな雰囲気の中で児童生徒同士が協力し合うことができました。この活動を通して、協力することの大切さや友達と一緒に活動する楽しさを感じることができました。



各学部の人権学習や取組を紹介します

【小学部の取組】特別活動 なかよしタイム

「人権の木『だいす木』」

小学部では、自分のことも友達のことも大切な存在であると感じることができるように、人権の木『だいす木』を使って人権学習に取り組んでいます

1学期は一人一人の好きな物には違いがあることを学ぶために、お互いの好きな本や音楽を紹介し合う学習に取り組みました。2学期は、友達のいいところを伝え合うために、素敵などころや頑張ってるなどと思うところを伝える学習に取り組みました。3学期は、友達と「ありがとう」を伝え合う学習を計画しています。



【中学部の取組】特別活動

「友達と『つながれーる』」



今年も、キャリアパスポートで自分自身を振り返るとともに友達の頑張り、いいところを認め合うために、「つながれーる」を毎月作成しました。今年は、友達とのお別れで悲しいこともあります。10月に転入生を迎えて、友達とのつながりの大切さを改めて感じました。いつまでも、心がつながるといいですね。



【高等部の取組】LHR

「人権学習～ともだちbingo～」

毎学期、LHRの時間で人権学習に取り組んでいます。今回は、ルーレットで選んだテーマについて、自分や友達の好みを知ってbingoを目指す活動に取り組みました。自分と好みが一緒でうれしい気持ちを感じたり、違う意見を聞いて良さを考えたりすることができ、互いを認め合う気持ちを大切にすることを学びました。最後にbingoを達成して、喜びを共有することができました。



「風船バレーが好き」のテーマを体験している様子